

藤 保 第 2419 号
令和 6 年 9 月 24 日

関係機関 各位

大阪府藤井寺保健所長

大阪府藤井寺保健所管内における感染症情報（令和 6 年度秋号）について（情報提供）

日頃から、当保健所業務に御協力いただき、お礼申し上げます。標記について、別添のとお
り情報提供します。

担当：大阪府藤井寺保健所 地域保健課 感染症チーム 吉岡・田中 TEL：072-955-4181 FAX：072-939-6479
--

感染症情報提供 令和6年度 秋号

9月24日から9月30日は結核・呼吸器感染症予防週間です

結核・呼吸器感染症予防週間は厚生労働省で定められており、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。

令和4年に結核と診断された患者数は、人口10万人当たり
全国 8.2 人、大阪府 12.7 人で、大阪府が全国 1 位です。
(2022 年結核登録者情報調査年報)

トピックス1. 藤井寺保健所管内でもコッホ現象事例が報告されています。

コッホ現象事例発生時は、以下のご対応をお願いします。

～コッホ現象とは～

BCG ワクチンを接種すると、通常は接種後 10 日ごろに、接種部位に小さな発赤や膨隆が生じ、その後、その部分が化膿することもあります。この反応は、接種後 4～6 週頃に、最も強くなりますが、その後は痂皮ができ、接種後 3～4 か月ごろには治り、小さな傷跡が残るだけになります。既に結核に感染している児の場合、接種後 1～7 日以内(多くは 3 日以内)に、接種局所に発赤、腫脹、針痕部位の化膿が現れます。これをコッホ現象といいます。

～コッホ現象の経過～

コッホ現象の例



接種後 1～7 日以内(多くは 3 日以内)の急激な変化(炎症・化膿など)が特徴です。

～コッホ現象が疑われる児が受診した場合は、以下のご対応をお願いします～
結核患者との接触歴のある方への対応については保健所へご相談ください。

【かかりつけ医・接種医療機関・結核指定医療機関へのお願い】

視診等(接種局所の観察等)、問診(結核患者と接触歴)、検査(ツ反・IGRA・CR 等)の結果、

■コッホ現象(疑い)の場合:

- ・結核指定医療機関へご紹介をお願いします。
- ・患児のお住まいの「市」へ、コッホ現象事例報告書の提出をお願いします。
- ・潜在性結核感染症や、活動性肺結核等の結核感染症と診断された場合は、保健所へ、感染症法上の結核発生届出をお願いします。

■コッホ現象ではない場合:対応終了となります。

参考:大阪府 BCG 接種コッホ現象対応マニュアル osakafubcgkohmanyuaru201803.1.pdf

日本ビーシージー製造株式会社作成パンフレット「BCG 接種を受けるお子さんの保護者の方へ」(写真提供公益財団法人結核予防会)

https://jata.or.jp/dl/pdf/data/bcg/BCG_japanese.pdf

大阪府藤井寺保健所ホームページ https://www.pref.osaka.lg.jp/o100160/fujiiderahoken/fujiho_infection/koch.html

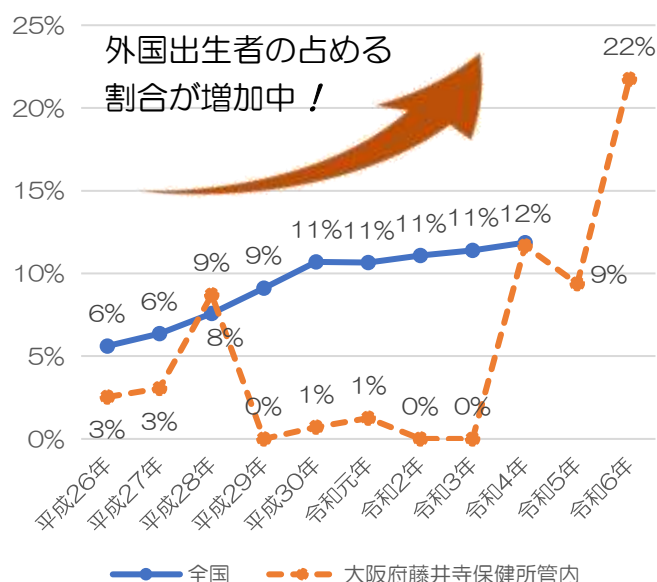
トピックス2. 外国出生結核患者が増えています！



外国出生者で咳症状の長引く症例では、 結核の鑑別をお願いします！

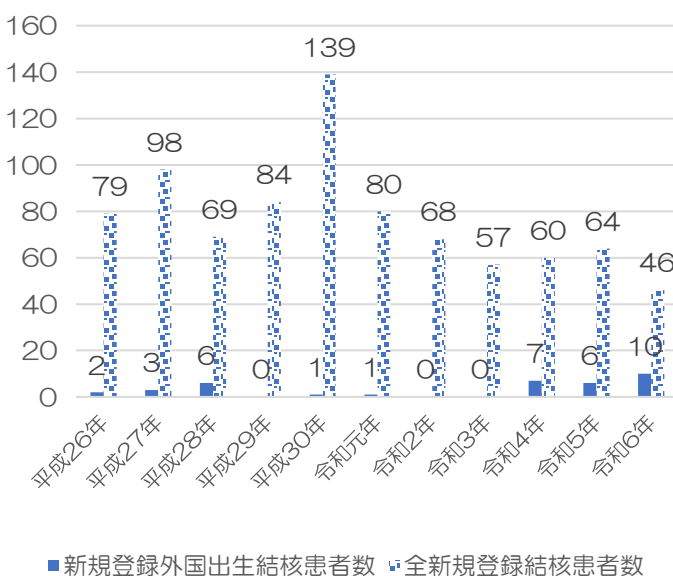
～外国出生結核患者とその現状～

- 外国出生結核患者とは、日本以外の国で出生した方で来日後、結核患者登録があった方を指します。
(潜在性結核感染症患者含む)
- 当保健所管内では、昨年(2023年)の新規登録結核患者数は64名で、そのうち6名が外国出生者でした。
当保健所管内では令和4年以降、新規登録結核患者のうち外国出生者の占める割合は急増しています！



(図1) 全国および大阪府藤井寺保健所管内の新規登録結核患者数に占める外国出生者の割合の推移

※令和6年は7月までのデータ



(図2) 大阪府藤井寺保健所管内新規登録結核患者数・新規外国出生登録結核患者数

※令和6年は7月までのデータ

当保健所管内では令和元年から令和3年までのCOVID-19の影響もあり、外国出生結核患者の登録は非常に少ない数値で推移していましたが、令和4年より新規登録結核患者に占める外国出生結核患者の割合が急増しています。

また、当保健所管内の外国出生者の出生国の特徴として、ベトナムが32.4%で、最も多く、次いでインドネシア(20.6%)、ミャンマー(14.7%)が多く、東南アジア出生者が多い傾向にあります。

■外国出生者の結核を疑った際のポイント

- ✓ 外国出生者は、若年者であっても結核に罹患している可能性があります。
- ✓ 検査は「胸部X線検査」「喀痰抗酸菌検査(塗抹・培養・同定検査)」「IGRA検査」等の実施をお願いします。
- ✓ 免疫抑制作用のある薬剤投与時は、結核保菌者である可能性を念頭に置いて事前にIGRA検査の検討をお願いします。